

# 直方市議会議員 やすなが浩之

## 一般会計補正予算に対する質疑

# 企業誘致適地調査業務委託料

Q.1 調査の内容はどのようなものか？造成等の費用積算なのか誘致企業のニーズ調査なのか、もしくはその両方か？

A.1 植木メカトロビジネススタウン区域の中で、まず、市有地、民有地、土地の形状等を勘案し、どのエリアで造成を行うことが最適な適地調査を行う。その後、そのエリアの中で、道路、調整池、緑地等をどのように配置し、盛り土を行う必要があるか等、調査を行う。そして、どれくらいの大サイズの土地を一つの区画として、造成を行うかの検討を行い、造成費用の積算を行う。  
また、誘致企業のニーズ調査についても、行っていく。

Q.2 収支バランスの不均衡を指摘した過去があるが、万が一植木地区の企業誘致が適地と判断できなかった場合の補完として、他の地域も対象にした調査を行うのか否か？

A.2 植木地区においては、もともとメカトロビジネススタウン構想を計画していたことに加え、鞍手インターチェンジに近いなど交通の利便性が良く、近隣自治体には自動車産業が集積しており、企業が進出する需要が高い地域であると考えている。  
万が一植木地区が企業誘致の適地と判断できなかった場合とのことであるが、現在直方市においては、企業誘致に関して植木地区におけるポテンシャルが高いと考えており、現時点では植木地区以外での調査は想定していない。

3 直方市やその周辺地域の地理的特性や企業の特徴を熟知した事業者に調査を委託する必要性を感じるが、調査を行う事業者の選定方法はどのように行うのか？

A.3 事業者の選定方法については、本調査業務について、精通し、滞りなく実行できる事業者を選定することが、必要不可欠であると考えている。そのため、選定方法については、その要件等が加味される方法を検討したいと考えている。

## 一般質問



【介護予防・日常生活支援総合事業の今後】

介護保険法の一部改正により、総合事業では各市町村が基準や単価を設定して運営することになります。

内容及び今後のスケジュールについて改めて伺い、サービスAは飯塚市のサービスBを参考に、サービスCは桑名市のサービスDを参考に検討を進めているとのこと伺いました。

なお、7月上旬に事業所説明会を開催し、事業所とともに、勉強会を通じて意見をすり合わせた後に、11月からサービス開始を予定する旨の答弁がありました。

【買い物弱者への取り組み】

直方駅前の総合スーパーが閉店し、約2年が経過いたしました。『今ある資源で、どうやって市民の方々の要望に添えるか』といった内容について、意見提起を行いながら市の考えを伺いました。

スーパー誘致活動を継続しながら、できるだけ、バスや鉄道の既存の路線を利用して、買い物に行っていたり、PRをおこなうとともに、地域の方々や交通事業者と協力して、より便利な買い物への移動手段となるよう取り組んでいく旨の答弁がありました。

【自転車活用推進の取り組み】

来年開通予定である「直方北九州自転車道」に関して、3月定例会での答弁を踏まえ、市長の考えを再確認し、担当各課に具体的な内容を伺いました。

都市計画課において、9月末に「直方市自転車ネットワーク計画」を策定予定である。商工観光課において、河川敷の自転車道から街なかへのサイクリストの誘導策や広域的な連携も視野に入れた取り組みを目指すことを確認しました。

直方市政へのご意見ご要望、お待ちしております。

《議員事務所》

〒822-0022 直方市知古1丁目6番1号

Tel.0949-28-8087 fax.0949-28-8020

※議会終了後、皆様への報告を目的に発行しています。

